

農学部

SCHOOL OF AGRICULTURE

20



24

「農」の学びで、日常と密接に結びつく

「研究室に留まらない」 農学科

学科概要

「食料生産」や「環境」の分野への応用を目指し、幅広い研究領域を設けている。
必修科目は少なく、動物生産・福祉学や害虫管理学や植物線虫学などの植物、動物、環境の分野中心に研究に臨める。

向いている人

- ・高校生物が好きな人
- ・公務員を目指す人
- ・農学における問題解決能力を高めたい人

面白い授業

▶基礎図法

ランドスケープ・デザインの製図を行う実践的な授業。

▶農学実験

全ての研究分野が6つに分けられ興味のある分野を履修する。全12回で3人の先生によって行なわれ、興味のある分野の実験を取ると似た分野の実験も受けられるので、研究室選びの参考にもなる。

農学科 or 生命科学科

生物全般が好きなので農学科と生命科学科で迷ったが…

農学科 : 必ず受けなければならない授業が少なく、幅広い分野を学べることから、農学科に入学。

生命科学科: 遺伝子を中心としたミクロの視点から学ぶ授業が多い。

「化学と生物を中心に学ぶ」 農芸化学科

学科の概要

食糧問題、環境問題をバイオテクノロジーによって解決をするために化学・生物学を中心に学び、人間生活にとって大切な生命・食・環境を研究する最先端の学科。

(化学と生物の比重は、1:1)

向いている人

- ・化学や生物が好きな人
- ・実験が大好きな人→楽しくてたまらない学科！

面白い授業

・農芸化学

農芸化学科の全教員から、先生ご自身の研究内容について説明を聞くことができ、研究室選びの参考になる。

・発酵食品学

発酵食品の製造方法、特徴(栄養価・保存性)、健康への影響について、微生物がどのような働きをしているかを学ぶ。

企業の方が授業に来て、発酵食品の商品を試食させてくれることも！

学生の声

- ・実験が多くてレポートも大変だが、高校とは違う本格的な実験ができるため楽しい。また、友達ができやすい。
- ・理系の中では、女子が多くて華やか！
- ・思ったより数学を使わないことに驚いた！

なぜ農芸化学科を選んだの？

生物が学べる農学科と農芸化学科で迷ったが、食品会社に就職したいと考え、食品関係を研究している研究室がある農芸化学科に入学。

「分子レベルで人類の課題を解決する」 生命科学科

学科の概要

人類が直面している環境・食料問題などの解決を目指し、
高校でいう【生物】と【化学】を中心に
動植物や微生物の生命活動を分子レベルから学ぶ学科。
*化学より生物の比重が高い

向いている人

- ・生物が好きで、多様な生命現象に興味を持っている人
- ・動物だけではなく、植物や微生物にもある程度興味を持っている人

面白い授業

▶生命科学入門

どのような研究をしているか、自分が興味を持っている分野の研究を行っている研究室が見つかるかも!

▶分子生物学

遺伝子がどのようなものであり、その中の情報がどのような仕組みで発揮(発現)されるのかを理解する科目。

その上にパソコンで簡単にできるアミノ酸配列の分析方法など、研究室に配属される前に研究で役立つスキルも身につけられる。

生命科学科 or 農芸化学科

共通部分が多く迷われることが多いが…

生命科学科:体の内部を遺伝子レベルで研究。

分子レベルで生命科学を学びたい人におススメ!

農芸化学科:人間生活にとって大切な生命、食、環境について研究。

「生田キャンパス唯一の文系学科」 食料環境政策学科

学科の概要

私たちにとって身近な「食料」と「環境」の問題について、
高校でいう【政治経済学】を使って研究を行う学科

面白い授業

▶基礎ゼミ

農学部は3年生からゼミ配属するが、
1年生の春学期から大学生活について学べる
内容:レポートの書き方、授業資料の活用法、
図書館の利用法、論文の読み方など。

10人程度の少人数なので、自然と友達ができる。

▶フィールドワーク実習

ゼミ活動で泊まりで農家、地方、海外に行くことを指す。
例:内容はゼミによるが3泊4日泊まり込みで、農家さんの
現状をヒアリングしたり実際の農作業を体験したりする。

▶ファームステイ実習

2年生では実際の農家さんのもとで1週間実習を行う農業の
留学!全国15か所から選べる。

▶海外農業体験

1週間の実習を行う農業の留学!

学生の声

- ・実習が多いので友達が作りやすい!
- ・農学以外を研究している教授もいるので入学してから
学びたいことを選びやすい!